

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	環境振動予測解析小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境振動の大会梗概を広く収集し要約集を作成すると共に、予測解析や対策の切り口から現状把握と問題点の抽出を行う。 ・2013 年度：1996 年～2010 年度分のタイトルとキーワードを分類シートにまとめ、全梗概を対象として各 1 枚の要約シートを作成する。 ・2014 年度：2011 年～2014 年度分の要約シートを追加作成し、シートを分野ごとに整理しグループ化を行い、グループ毎に現状の問題点等をまとめて今後の当小委員会として検討すべき技術課題を明確にする。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：石橋敏久 (鹿島) 幹事：山中祐一 (ジェイアル東日本建築設計事務所) 委員：岩田克司 (エイト日本技術開発)、片迫幹男 (日本設計)、嘉村武浩 (日建設計)、佐野泰之 (愛知工大)、鈴木健司 (清水建設)、田中靖彦 (安藤・間)、秦 一平 (日本大学)、林 健太郎 (ベネック振動音響研究所)、洞 宏一 (特許機器)、増田圭司 (フジタ)、三輪田吾郎 (大林組)、森下真行 (前田建設工業)、吉岡宏和 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2014 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初予定の 1996 年～2010 年度分の要約シートを作成した。シートを分野ごとに整理し 4 グループに分けて、グループ毎に現状と問題点の抽出について討議を行った。 2. 要約シート作成を 2011 年～2014 年度分まで拡張し、グループごとの討議結果をまとめた資料を作成した。
委員会活動の問題点 ・課題	

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2年間で以下の成果が得られたので、総合評価をAとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、1996年～2010年度分の大会梗概を対象としていたが、2014年度分まで拡張し、評価関係を除く全478の要約シートを作成した。 ・1996年～2014年度分の要約シートを分野別に整理した上で、4グループ（A：地盤単独、B：建物躯体単独、C：床単独、D：地盤・基礎・建物連成）に分け各グループ毎の討議を行い、これまでの経緯や今後の課題などを資料として整理し、2015年度以降の当委員会の進め方への筋道をつけた。 ・上記活動は、全委員参加のもとに実施され、本小委員会の活性化（出席率の増加）がはかられた。 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。